



Rotary



茂原中央ロータリークラブ 会報

世界に希望を生み出そう

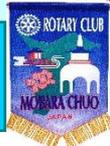


会長 杉江敏矢 幹事 居村龍二郎

クラブ 創立 1993.1.12
 例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30
 例会場 茂原卸団地組合会館
 事務局 TEL 0475-26-1515
 FAX 0475-26-1516

Email mobarach.rc@gmail.com
<http://mobarachuo-rc.com>

- ★ ゴードン R. マッキナリー RI 会長
- ★ RID2790 鷗沢 和広 ガバナー
- ★ 第7グループ 諏訪 武士 ガバナー補佐



第 32 巻 通巻第 1393 号 第 35 号 例会通回 第 1398 回

★クラブ会報委員長 片岡 太 ★副委員長 横堀 喜一郎

本日の例会プログラム

令和 6 年 3 月 26 日
 (水と衛生月間)

点 鐘 杉江 敏矢 会長
 ソ ン グ それでこそロータリー

会長挨拶 杉江 敏矢 会長
 幹事報告 居村龍二郎 幹事

委員会報告
 ニコニコ

** クラブ協議会 **
 新年度委員会構成について

出席報告 担当委員会

3月19日例会

会長挨拶 杉江 敏矢 会長

皆さん、こんにちは。今日で 53 歳になりました。昨日はお祝いをしていただきありがとうございました。

いよいよ来月 10 日にガバナー公式訪問があります。それに向けて様々な案内が来ています。来週会長幹事会がありますので、その時に既に終了したクラブもありますので、様子を伺って来ようと思っています。最初は卓話だけという話もありましたが、その辺も含めて聞いて来たいと思います。質問事項のようなものも案内の中に添付されていたので、その辺も確認をさせていただきます。皆さんのお手伝いよろしく願いいたします。

それではこの後に今井会員に卓話をお願いしたいと思います。

以上で挨拶は終わりにさせていただきます。
 ありがとうございました。

幹事報告 居村 龍二郎 幹事

●地区 (回覧)

①市原ロータリークラブより、創立 60 周年記念式典のご案内

日時：6 月 13 日 (木) 登録受付 14 時
 式典 15 時～

会場：京成ホテルミラマーレ 4 月 10 日迄

②君津ロータリークラブより、例会場変更のお知らせ

変更日 2024 年 4 月 1 日
 新例会場 新大和田クラブ
 〒299-1146

千葉県君津市大和田 454-3

③ロータリーの友事務所より、2024-25 年度ロータリー手帳お買い上げのお願い

④RLI 推進委員会より、「RLI パートⅢ&懇親会」開催のご案内

日時：2024 年 4 月 6 日 受付 9 時 30 分
 開会 10 時～ 閉会 18 時

場所：千葉市民会館

⑤ローターアクト代表より、第 35 回関東ブロック研修会のお知らせ

日時：2024 年 4 月 27 日 (土) 13 時～
 懇親会 19 時～
 28 日 (日) 13 時～

会場：千葉経済大学 2 号館第講義室

⑥広報・公共イメージ向上委員会より、公共イメージニュース

⑦ロータリー東日本大震災青年支援連絡協議会より、「風の便り」Vol.9_No.8 (通刊 113 号)

●例会案内 (回覧)

特になし

●会報受信 (回覧)

特になし

●その他 (回覧)

特になし

会員卓話

「姉妹クラブ・友好クラブ」について



今井 道之 会員

皆さん、こんにちは。杉江会長お誕生日おめでとうございます。夕べは盛大にお祝いをしていたようでおめでとうございます。

今日の卓話はいろいろ考えましたが、姉妹クラブ委員会に所属しておりますので姉妹クラブのことを皆さんにお話していこうと思います。

姉妹クラブの経緯がどうだったのかを調べてみましたのでご報告させていただきたいと思えます。

当クラブは 1993 年に創立いたしました。翌年 1994 年（清宮節夫会長）には姉妹クラブを進めていくということについての打診が理事会にあり可決していました。

1995 年（大多和力会長）に姉妹クラブを山形の天童西 RC に打診しています。この天童西 RC さんとは打診で終わり、結論が出ませんでしたという結果報告になっています。「姉妹クラブを結ぶ力がない」ということで理事会も締結しないという結論が出ています。

1996 年（星野滋雄会長）の時、姉妹クラブ準備委員会ということで、その準備委員が渋川みどり RC に表敬訪問しています。前会長の大多和力会長と星野滋雄会長の 2 人で訪問しています。

1997 年（中村勇会長）には、中村勇会長の時に南佐久 RC との友好クラブを進めたいということで理事会の承認をもらっています。この南佐久 RC の方に何で進んでいったかは定かではないんですが、渋川みどり RC さんと南佐久 RC さんとの友好の方に準備を進めて行ったようであります。

1998 年（岡武会長）には、群馬県の渋川みどり RC と親睦クラブとして友好を深めていくということで承認を得ています。11 月に渋川みどり RC さんを引き続き姉妹クラブとして進めて行こうということになっていました。

1999 年（進藤義男会長）は僕が入会させてもらった年なんですけども、この時は南佐久 RC の創立 25 周年記念式典に招待を受けておりまして、会長と幹事で八ヶ岳高原で行われた記念式典に出席しています。

そういう経緯を辿りながら、南佐久 RC との親善親睦を深めていったようでございます。その後 2000 年から 2004 年までは南佐久 RC と親睦を深めていってました。

この南佐久 RC には当クラブがゴルフでの親睦を兼ねてゴルフ同好会主催でバスで親睦を深めるために八ヶ岳高原のゴルフ場に皆さんで参加しています。この時の参加は結構多くて、当クラブから 14 名位の参加で南佐久 RC の方に出向いております。南佐久に“御柱”を見に行っているという。そういう記述があります。南佐久 RC と友好クラブを締結するにはこの時点ではいっていないんです。岡会長の時に 2 名で渋川みどり RC に親睦の訪問をしています。この後渋川みどり RC さんはどういう訳か交流がなくなっていきます。南佐久 RC さんの交流が非常に多くなっています。

2002 年（山本力雄会長）の時は南佐久 RC さんと合同親睦ゴルフをやっていましたが、当クラブの創立 10 周年記念には南佐久 RC さんは欠席しています。その後南佐久 RC さんとは交流が少なくなってきました。

2005 年（小川まさ子会長）に、西那須野 RC さんと交流を始めています。

この交流がどうして始まったかと言いますと、南佐久 RC さん渋川みどり RC さんの両クラブとの交流がだんだん少なくなってきたために、もう 1 カ所何処か東北の方で当たってみようかということで、当時中村会員が姉妹クラブ委員長だったんで僕と中村さん、片岡さん、三宅さんでプライベートでハウライカントリークラブにゴルフで遊びに行き、その時に中村さんが「このハウライカントリークラブのメンバーさんでロータリークラブに所属している方が誰かいませんか？」ということで尋ねたところ、「西那須野 RC の渡辺さんがメンバーで西那須野 RC の会員ですよ」ということでご紹介いただきました。

そこで、渡辺さんの所にプレー終了後に連絡を取ってもらい行って来ました。

「こういうことで私達のクラブと西那須野 RC さんの交流をどうですかね」ということ。

その前に親睦ということで「プライベートで何人かでゴルフをやりませんか」と要望したところ「いいですよ」ということで、渡辺さん含めて 2 組位でゴルフをやりました。

次は当クラブのゴルフ同好会と西那須野 RC さんの愛好会の何人かでやりましょう。ということで交流を深めていきました。

その交流を深めていった中で西那須野 RC さんの方も、今度は茂原の方でやりましょう。ということで茂原にも来てもらっています。この時から交流が進んでいきました。

2007 年の田辺会長志田幹事の時の創立 15 周年記念式典（シーサイドオオツカ）で友好クラブの締結をしております。

以降ずっとこの西那須野 RC さんとの交流が続いてきているということになります。

その後、西那須野 RC さんの 45 周年記念式典に当クラブで参加した時に、西那須野 RC さんから台湾桃園 RC と姉妹クラブをしていて、非常に仲良くさせてもらっていて、自分達のクラブの活性化にも繋がっているというようにお話をいただいたのがきっかけで、台湾桃園東 RC さんをご紹介をしていただきました。

桃園東 RC さんは皆さんご存知のように、私は 4 回小沢さんも 4 回伺いました。他の会員も 4 回行ってもらった方 3 回行ってもらった方で交流をし親睦を図ろうと思って行ったんですけれども、現段階では姉妹クラブとして、どうしようかなと考えているところがございます。

それはまた皆さんと協議をしていかななくてはいけないかなって思っておりますけれども、折角の縁があって西那須野 RC さんの紹介で桃園東 RC さんとも多少の交流もできた訳ですので、これから先も皆さんと共に協力していただきながら進めて行ければなと思っております。

この姉妹クラブと友好クラブの違いがどうなのかなと思っ調べてみました。

今まで当クラブは姉妹クラブ締結をしているところはないわけで、友好クラブの締結が西那須野 RC さんだけということになっております。

姉妹クラブは、他のロータリークラブと締結した提携を指します。通常、地理的な近さや共通の興味を持つクラブ同士が姉妹クラブとなります。

この締結したクラブは、定期的な交流、プロジェクトの共同実施、親睦活動などを行います。

友好クラブは、国際的な交流・友好クラブは他国のロータリークラブとの交流を目的としています。親睦を中心にして交流を深めていく友好クラブは文化的な理解、奉仕プロジェクト、親睦活動などを通じて国際的なつながりを築きます。

その他に双子クラブがあります。双子クラブは、海を越えた交流となっていて姉妹クラブと同等な扱いなんだそうです。国際理解と親睦を深め共同で奉仕プロジェクトに取り組むために海外のクラブと長期的な関係を結ぶものです。相手クラブを選ぶ際には特に注意すると良いでしょうということで、注意する点が何点か揚げられています。

同じような関心、課題、歴史を持っている一緒に活動したことがある

奉仕活動を行いたいと考えている地域にある

姉妹クラブと友好クラブの違いはそういうことだそうです。

今は西那須野 RC さんと友好クラブを締結して親睦を深めてるんですけれども、桃園東 RC さんとはこれから親睦を深めていって友好クラブの締結になるかどうか分かりませんが、姉妹クラブ委員としてこれから先皆さん若い方達が一生懸命親睦を深めてもらって姉妹クラブの締結するかどうかは皆さんの考え方一つだと思います。

姉妹クラブも友好クラブもお互いが楽しく親睦を深めていければ、僕は個人的にはどちらでもいいんじゃないかなと思っております。ですから、台湾桃園東 RC さん西那須野 RC さんもこれからもっともっと皆さんと一緒に親睦を深めて参りたいと思っておりますので、どうか皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。

どうもありがとうございました。



バナー交換 八千代中央ロータリークラブ



八千代中央 R C

ロータリーのクラブバナー交換は、地域の特色と国際的な友情を表す素敵な伝統です。クラブバナーは、ロータリークラブが独自に制作したもので、例会や地区行事で展示されたり、海外に赴くロータリアンが所属クラブのバナーを持参して現地のクラブと交換することが一般的です。

バナーには、クラブの地元や国の象徴やイメージが描かれていることが多く、革細工、織物、刺繍、手描きデザインなどで表現されています。これらのバナーは、芸術的な逸品と言えるものも少なくありません。

バナー交換の人气が高まったため、国際ロータリー理事会は、クラブに経済的負担をかけないように慎重な判断を呼びかけています。この伝統は、クラブ間の友情を表す素晴らしい方法となっています。

ビジター 田代 充 会員 (八千代中央 RC)

ニコニコ

田代 充 会員 (八千代中央 RC) …… 本日は
よろしくお願ひいたします。

出席報告

| 例会日 | 会員 | 出席 | MU | 欠席 | 免除 | 出席率% |
|------|----|----|----|----|----|-------|
| 3/19 | 26 | 22 | 0 | 3 | 1 | 88.00 |
| 3/05 | 26 | 16 | 4 | 5 | 1 | 80.00 |

4月 行事予定

| | |
|---------|--|
| 4/02(火) | 理事会 11 時 30 分・移動例会「竹りん」 誕生祝 1 名 (武田会員) 内部卓話: 新沢弘樹 会員 |
| 4/10(水) | 鶴沢和弘ガバナー公式訪問 (茂原中央・大網合同訪問) 場所: 中部コミュニティセンター |
| 4/16(火) | 通常例会 (卸商業団地会館協同組合) ロータリーの友勉強会 |
| 4/23(火) | 夜間移動例会「ジグザグ」 |
| 4/30(火) | 振休 (地区研修・協議会) |

有効なニコニコボックスの活用

例会場には、ニコニコボックスあるいは、スマイルボックスと呼ばれる受付が設けられている場合があります。これは、会員の喜び事、祝い事あるいは、ちょっとしたしくじりなど、出来事や近況披露、お礼や感情表現など様々な理由付けの活用方法で、会員が自発的に拠金をするもので、別に何の規定も文献もあるわけではありません。要するに、ニコニコ箱の名が示す通り拠金する会員もニコニコしながら拠出し、集まったお金は、クラブの奉仕活動などに使用します。金額については、善意のお金ですからいくらでも良いのですが、だいたい 1,000 円単位のところが多いようです。喜びの大きいときは相当多額のニコニコもあります。多くのひとからいろいろの理由で何回も拠金してもらおうのが、ニコニコボックス本来の姿といえましょう。

●●●ニコニコ箱について●●●

まず、ニコニコ箱というのは、ロータリーでは、世界的な慣例ではありません、日本にはありますが、世界中どこの国にもあるというものではないのであります。

アメリカを始め諸外国にはニコニコ箱に類するものとして Fine Box と Chest Box があります。Fine Box は罰金箱で、欠席、早退とかのペナルティを集める制度であり、Chest Box は目的を定めた募金箱ですから、目的を定めずに募金をする日本のニコニコ箱とは若干違います。

奉仕活動をするための資金集めは、会員の了解を得た上で目的を定めて、その目的のために帽子を回すのが諸外国のやり方です。

日本では、ニコニコ箱の慣例が出来たのは、昭和 10 年のこととあります。関東大震災の被災孤児達を東京ロータリーホームという孤児院で世話をしたいましたが、東京ロータリー・クラブの人達が、昭和 10 年に当時オープンした多摩川園という遊園地に孤児達をつれて行ってやろうということになりました。

ところが、さてその金はどうしようかということになりました。クラブの会員達は、お金持ちではありませんが、クラブ自体には金はありません。

そこで、日本橋の羅紗問屋 上村伝助商店の筆頭番頭であった関幸重という人が一計を案じ、あり合わせのボール箱をもって、『あなたの誕生日ですよ』とか『お嬢さんが結婚されたでしょう』とか色々なことを軽妙洒脱に面白く話しながら、例会場を回ったのであります。会員達が皆笑いながら財布の紐を解いたと言います。

当時、大学卒の初任給が 60 円くらいの時代に 600 円のお金が集まったといえますから、流石は東京ロータリー・クラブであります。これで孤児達を多摩川園に連れて行くことが出来たのであります。

それから、関さんが、何かことあるごとにその箱を持って回ったのでありますが、あまり汚い箱では具合が悪いだろう、皆がニコニコして金を出してくれるからということで、三越に注文して、えびす様の顔を彫った箱を拵えました。これがニコニコ箱の起りです。

いずれにしても、戦前のロータリアン達は、金を集めるにしても色々考えてユーモラスにやったのであります。今日のロータリーには、このユーモアがやや乏しいとも思われるのであります。

なお、東京ロータリー・クラブのこの慣例に対して、大阪ロータリー・クラブは昭和 5 年ですから東京よりも早いという説があります。

しかし、大阪ロータリー・クラブの場合は、遅刻等の時に SAA がなにがしかの金銭を強制的に取り立てる罰金箱であって、ニコニコ箱とはその趣旨が異なるのであります。

ニコニコ箱は、あくまでも、何か喜び事があったときに、会員達がそれを記念して、社会奉仕の浄財をクラブに寄託するものであって、罰金箱のように人を責める形で金を集めるものではありません。

<伊丹 RC ホームページ 純ちゃんのコーナー (深川純一 PDG RID2680) より>